市政を問う！

3日間 12人の 一般質問

星川博文	「地方創生」「市長マニフェスト」
井川郁恵	「特別支援教育」「小中学校における不登校対策」
北澤伸道	「東三河環状線の整備」「本市の道路維持管理の状況」
倉橋英樹	「通学校区の選択制及び指定校の変更」
鈴木佳孝	「市民の安全と健康を支える公園」
林　正子	「平和への取り組みと豊川海軍工廠関連遺産の利活用・保存」
堀内重佳	「人口減少時代に対する取組み」
佐藤郁恵	「2023年豊川市議選の投票所削減による影響と投票率向上に向けて、連区、町内会による特定候補者推薦行為について」「名鉄国府駅周辺の交通問題」
安間寛子	「教員の増員と教員の負担軽減」「学校の校舎等設備の老朽化等の現状と整備計画」「保育園、学校給食の無料化の実施」
中村太治	「豊川市における災害と学校における防災教育」
八木月子	「自転車の安全利用の促進」
加藤典子	「市民へのデジタルを活用した情報提供のあり方」

一般質問とは、議員が市に対して、市政全般にわたる事務の執行状況や今後の方針などを質問することです。質問時間は、議員1人当たり30分です。（答弁の時間を除く。）

ここに掲載した一般質問の内容は抜粋したものです。市のホームページで公開するインターネット録画配信で、全ての内容を視聴できます。議員ごとに掲載している**QRコード**をスマートフォンやタブレットで読み取るか、市議会ホームページの**「インターネット議会中継」**よりご覧ください。

地方創生と市長マニフェストについて

星川博文

【問】市の人口の維持・増加を図る上で、防災対策は重要である。6月2日の豪雨災害に係る支援や、防災対策についての考えは。

【答】災害見舞金の支給に関する受け付けなどを行うほか、新たな支援策の検討を各部署に指示した。水害予防に生かすために記録、伝承し、備えの重要性や身を守る行動について、周知・啓発を行う。

【問】マニフェストの進捗状況の自己評価は。

【答】人口の社会増や市民意識調査の結果を踏まえると、着実かつ効果的に取り組みを展開できている。主に、大型商業施設の誘致により雇用を創出し、店舗内の①豊穣屋の出店支援は、地域の魅力発信の強化に寄与している。

【問】次期市長選挙についての考えは。

【答】引き続き市政の発展に貢献したいという思いから、再度出馬する決意を持っている。

①豊穣屋
豊川商工会議所による地域応援セレクトショップ。店内には、市内の観光名所などを紹介する観光ＰＲコーナーや、豊川市・東三河の特産品などを扱うブランドショップ、店舗のＰＲや新商品販売を１週間単位で行うチャレンジショップを併設している。

特別支援教育と不登校対策について

井川郁恵

【問】特別支援学級の在籍児童数が増えていることへの認識は。

【答】きめ細かな対応を求め、保護者が特別支援教育を受けさせたいと思うようになったことなどが原因と認識。適切なケア等を受けながら学習し、就職へ結び付けることは、その子供や、社会全体にとって有益である。

【問】特別支援学級に関わる教員は充足しているか。

【答】関わる教員が不足していることはないが、特別支援学級数が増え、多くの担任が必要になり、市全体の教員数不足が生じる一つの要因になっている。

【問】不登校対策における、②SSWを活用した取り組みは。

【答】引きこもりがちな児童・生徒のために配置し、家庭訪問などを実施。現在、1名で対応しているが、成果などを踏まえ、今後の拡充を検討していく。

②ＳＳＷ
スクールソーシャルワーカーのこと。教育の分野に加え、社会福祉に関する専門的な知識等を有し、問題を抱えた児童生徒に対し、課題解決への対応を図っていく人材。市では４年度から配置。

東三河環状線の整備と道路の維持管理について

北澤伸道

【問】大崎・三蔵子工区の通学路への対応は。

【答】東三河環状線の歩道を利用した通学路を設定し、児童の安全確保のため、防護柵を設置することとなった。

【問】全線開通はいつ頃の予定か。

【答】測量や設計、関係機関との調整等を進める上で多くの期間が必要となり、時期を明確に示すことは難しい。

【問】道路の維持管理を進める上での課題と対応策は。

【答】課題は、情報の伝達手段が不十分で迅速な対応が困難なこと、土木技師の確保、財源確保の3つ。対応策は、スマートフォンから簡単に通報できるシステムの導入、ＡＩによる点検パトロールの充実、また、事業の平準化を図りつつ、長寿命化が期待できる修繕方法の採用や、国・県の補助金等による新たな財源確保を検討することが挙げられる。

東三河環状線（大崎工区）

就学指定校の変更について

倉橋英樹

【問】児童・保護者が距離による指定校変更を求める気持ちをどのように認識しているか。

【答】近くの学校に通いたいと思うのは当然で、十分に理解できる。

【問】距離による指定校変更の相談があったと思うが、対応状況は。

【答】距離だけが理由の場合は、変更の許可をしていない。「町内会との関係等により地域活動に支障をきたすため」という要件であれば、許可が可能である旨を伝えることがある。

【問】保護者のニーズなどを把握し、③審議会の答申を出す考えは。

【答】審議会の開催は考えていない。

【問】大きな距離の差がある地区の就学予定者・新興住宅地の意向をアンケート等で測る対応が必要ではないか。

【答】アンケートは、住民からの意見により、町内会や連区が実施する形が望ましいと考えている。

③審議会
豊川市立小・中学校通学区域審議会のこと。教育委員会の附属機関として設置されており、教育委員会の諮問に応じ、通学区域に関する事項について調査・審議し、答申する。

市民の安全と健康を支える公園について

鈴木佳孝

【問】防災面の役割は。

【答】一定の広さを持つ公園は災害に対して安全性が高く、地域住民に知られている場所であるため、163箇所が④指定緊急避難場所となっている。

【問】遊具点検の基準や実施状況は。

【答】職員の日常点検等に加え、専門技術者による年に一度の定期点検を実施している。

【問】近年の⑤健康遊具の整備実績は。

【答】豊川公園では、4年度に、8種類の健康遊具を設置した。

【問】拡充設置する際の課題と今後の方針は。

【答】子供が遊びに用いると危険な場合がある。また、健康遊具への変更は、⑥計画における同機能の施設の更新でなければ国の補助金が活用できず、財政負担が大きいことなどが課題。新たな財源を調査研究し、地元要望などを踏まえて検討を進めていく。

④指定緊急避難場所
災害による危険が切迫した状況において、生命の安全を確保することを目的とした緊急に避難する際の避難先のこと。災害の種類ごとに指定されており、公園は主に、地震時の避難場所として指定されている。

⑤健康遊具
日常生活での健康づくりを主な目的とした大人専用の遊具のこと。

⑥計画
公園施設長寿命化計画のこと。国の指針に基づき平成22年度に策定された。

平和への取り組みと豊川海軍工廠関連遺産の利活用・保存について

林正子

【問】本市の平和都市宣言の成り立ちは。

【答】豊川海軍工廠の被爆50年を迎えるに当たり、平和に関する都市宣言を行う機運が高まったことから、事実を後世に伝え、地球の平和と安全の確保を希求するとともに、本市における平和推進の指針として策定された。

【問】⑦諏訪墓地の管理方法と、隣接する県有地を購入し、一体管理する計画はあるか。

【答】年2回程度の草刈りなど墓地全体の維持管理は市が行っている。現時点で一体管理をする計画はない。

【問】平和公園の設置目的と、それに対する取り組みは。

【答】目的は、戦争の悲惨さと平和の尊さを知っていただき、後世に伝えていくこと。語り継ぎボランティアの養成や、小学6年生を対象とした見学授業の実施による市独自の平和学習等を進めている。

⑦諏訪墓地
昭和20年8月7日の空襲で犠牲になった方の遺体が当時国有地だった千両と諏訪に仮埋葬された。その後、海軍工廠が解散し、昭和26年の発掘開始まで6年間放置された。発掘の際に遺体は諏訪墓地に移され、身元が判明した遺骨は遺族の元へ、不明の遺骨は無縁仏として旧海軍墓地に埋葬された。
現在は、25基の慰霊碑などが設置されている。

人口減少時代における市営住宅と空き家対策について

堀内重佳

【問】市営住宅廃止の代替として、⑧民間ストックを活用する考えは。

【答】現時点で行う予定はないが、市営住宅を建設する以外の選択肢となるよう、活用の是非を検討していく。

【問】萩住宅の移転事業の概要は。

【答】6年度末に⑨条例上で廃止し、7年度に財産管理課へ移管予定。

【問】市長マニフェストでは、萩住宅跡地は宅地分譲としているが、利用の予定は。

【答】民間への売却を含め、現時点では確定していない。

【問】市内の地域別の空き家の概況は。

【答】当初⑩計画の策定時からは、いずれの地域も減少傾向である。

【問】市街化調整区域にある空き家の活用の考え方は。

【答】空き家バンク制度が利用可能な場合、市への移住・定住施策として貢献できるよう利活用を推進していく。

⑧民間ストック
民間のアパートやマンションなどの住宅のこと。

⑨条例
豊川市営住宅条例のことで、萩住宅を含めた市営住宅の設置などについて規定されている。

⑩計画
豊川市空家等対策計画のこと。平成30年度に5年間を計画期間として策定し、4年度には改定計画を策定した。改定計画では、空き家の概況について、中学校区を基準とした10の地域別に調査結果をまとめている。

連区、町内会による特定候補者推薦行為について

佐藤郁恵

【問】市の考えは。

【答】町内会の構成員には、さまざまな政治的信条や考え方を持つ方がいるため、政治活動や選挙運動への関わり方については配慮が必要であると考える。

【問】大池線の交通問題の現状と認識は。

【答】大池線の西側住宅から国府駅方面へ向かう歩行者は、東側歩道へ渡って南側へ向かい、上宿交差点で西側に渡ってから駅方面へ行く状況。西側には歩道が設置されてないが、東側に設置していることで、現在のところ、有効利用が図られていると認識している。

【問】かわしん[11]周辺の歩道を優先的に整備する考えは。

【答】大池線は未整備区間の中でも、優先度の高い路線であると考える。都市計画道路整備は、土地利用状況や関連事業の有無、地元の意見等を踏まえて総合的に判断していく。

⑪かわしん
ここでは、八幡町上宿にある豊川信用金庫のＡＴＭコーナーを指す。大池線の西側に位置している。

教員不足の現状と対策について

安間寛子

【問】定数内欠員とそれに対する配置状況は。

【答】５年度当初から中学校の国語２名、理科１名が欠員。同じ教科の教員が担当時間を増やして対応している。

【問】通常学級に在籍する特別な支援を必要とする児童生徒が増えているが、学級運営支援員を増員する計画は。

【答】全学級で複数の教員や支援員で対応できれば余裕が生まれる。拡充等を検討していく。

【問】調査[12]では、時間を減らしたい業務の１位は教育委員会等への提出資料の作成である。業務を減らす考えは。

【答】簡単に断捨離できるものばかりではないが、現場の声に耳を傾け、教員の負担軽減を推進していく。

【問】大規模建設事業を見直し、学校校舎等の改修、改築等を優先させる考えは。

【答】全体の事業の重要度や緊急度を総合的に判断し、進めていく。

⑫調査
全日本教職員組合が実施した教職員勤務実態調査2022のこと。

市における災害と学校の防災教育について

中村太治

【問】６月２日の大雨による主な市の被害は。

【答】床上浸水は６月９日現在で２５２棟、土砂災害は家屋全壊１棟の被害があった。

【問】防災教育の取り組みの中で、子供が具体的に災害を体験できる機会があるか。

【答】児童のなまず号体験や、スモークマシンを活用し、火災時に発生する煙の怖さを体験した学校がある。

【問】防災食を食べることで自然災害への理解を深められると思うが、今後の取り組みは。

【答】検討し、今後の事業に生かしていく。給食の提供に支障が生じた場合に備えた備蓄品は、防災教育にも活用できると考えている。

【問】学校と地域や消防署等との連携状況は。

【答】全小学校が消防署見学を行い、防災センターの見学を行う学校もある。地域や関係機関と連携し、防災教育を充実させたい。

防災センターの見学の様子

自転車の安全利用の促進について

八木月子

【問】人身事故において、自転車対車では、どのような事故が多く発生しているか。

【答】83件発生しており、そのうち出会い頭が50件となっている。

【問】自転車の交通ルールの広報啓発に係る取り組み内容は。

【答】⑬自転車安全利用五則を活用し、広報やチラシ、交通安全教室などの機会を捉えた啓発に努めている。

【問】⑭ヘルメット購入補助金の実績は。

【答】4年度は103件。今年度は5月末日までに499件。

【問】補助対象者を拡大する予定は。

【答】県と協調した補助制度であり、補助対象者を拡大する予定はない。県警の統計では、自転車事故におけるヘルメット未着用時の致死率は、着用時に比べて約2・2倍と高い。被害軽減のため、正しく着用して頭部を守ることが重要である。

⑬自転車安全利用五則
「夜間はライトを点灯」、「ヘルメットを着用」などが定められている。国の中央交通安全対策会議交通対策本部が平成19年に決定し、4年11月に改正された。

⑭ヘルメット購入補助金
自転車乗車用ヘルメット着用促進事業費補助金のこと。満7歳から満18歳、及び満65歳以上を対象に、購入費用の一部を補助する制度。

デジタルを活用した市民への情報提供の在り方について

加藤典子

【問】オンラインでの情報発信強化の展開は。

【答】別々に情報発信していた内容の集約をはじめ、⑮プッシュ型・プル型併用の一元的な情報発信を検討する。

【問】⑯まなびポケットを選定した理由は。

【答】保護者連絡機能が無料で使用できることなど。欠席連絡等に活用し、将来的に紙媒体の配付はなくしたい。

【問】母子保健事業のデジタル化の状況は。

【答】あいち電子申請届出システムを利用し、妊娠8カ月頃の面談や各種教室の予約が可能。

【問】保育所申請のオンライン化の状況は。

【答】保育施設等の利用申し込みなどの3つの手続きについて、6年度中の本格実施に向け課題を整理していく。

【問】公式LINE導入についての考えは。

【答】4年度からワーキングチームの開催により準備を進めており、6年度の導入を目指す。

⑮プッシュ型・プル型
プッシュ型は、市民などの対象者へ一斉に情報を押し出す能動的な配信のことで、広報や安心メールがある。
プル型は、当事者にオンライン上で有益な情報を見つけてもらう受動的な配信のことで、ホームページやSNSがある。

⑯まなびポケット
クラウド型教育プラットフォームサービスのひとつ。市内全36小中学校で導入されており、学習ログ機能、ファイル共有機能、保護者向け連絡機能などを無償で利用できる。

ライブ中継・録画配信を行っています

一般質問を含め、本会議の様子は、インターネットでの中継及び配信を行っています。ぜひご利用ください。

※左のQRコードからアクセスできます。
通信料は利用者負担です。

市役所ロビー（本庁舎1階）のモニターでライブ中継を見ることもできます。

ここをクリックしてください。